Fujidenki
Publishing

TFT モニタ付 DVD コンポ

品番 **DVC-05**

取扱説明書

★このたびは弊社製品をお買い上げいただき、 ありがとうございます。

★ご使用の前に、 この取扱説明書をよくお読みのうえ、 正しくお使いください。

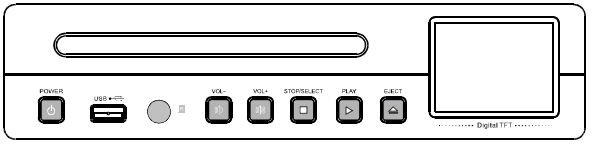
★保証書は必ず [販売店名・購入日] の記入を確かめ、 販売店からお受け取りください。

もくじ

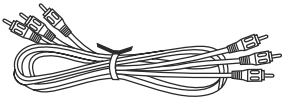
■付属品の確認……03
■本機の設置場所について……03
■安全上のご注意……04
■コイン型電池に関するご注意…07
■スピーカ設置のご注意……08
■ディスク使用上のご注意……09
■各部のなまえ (前面)……10
■各部のなまえ (背面)……11
■各部のなまえ (リモコン)……12
■リモコン操作……13
■本機の設置……14
基本的な設置方法 / 放熱スペースについて / 防磁について / スピーカ設置に関するご注意
■取扱上のご注意……15
■テレビとの接続……16
■外部機器との接続……18
アナログ接続 / デジタル接続
■再生できるディスクについて…19
リージョン番号 / 再生できないディスク /DVD レコーダで記録したディスク / ビデオ CD
■基本的な操作……20
電源 / ディスクのセット / ショートカット / リセット / 液晶モニタ
■音の調整機能……21
音量の調節 / 消音 / イコライザ切換 / スペクトル / 本機で再生できる音声の種類
■基本的な再生……22
再生 / 停止 / リジューム再生 / スキップ再生 / サーチ再生 / 一時停止 / スロー再生
■便利な再生機能……23
リピート再生 /AB リピート再生 / プログラム再生
■便利な表示機能……24-25
DVD メニュー表示機能 /PBC 機能 / 音声言語の変更 / 字幕言語の変更 / 画面表示切換 / ズーム機能 / アングル機能 /DVD データー覧表示機能 /CD サーチ機能
■特殊な機能……26
バーチャルリモコン機能 / 壁紙設定 / 壁紙の表示
■ USB 機器の再生……27
■データファイルの再生……28
■システム設定について……29
システム設定でできること / システム設定の方法
■システム設定項目表……30
■一般設定……31
画面サイズ設定 / アングルマーク設定 / 画面表示言語設定 / キャプション設定 / スクリーンセーバー設定 / ラストメモリ設定 / パネルライト設定 / 壁紙設定
■音声設定……32-33
ダウンミックス設定 / ポスト DRC 設定 / デジタル出力設定 /LPCM 設定 / デュアルモノ設定 / ダイナミックレンジ設定 / サウンドモード設定 / 低音設定 / 重低音設定 / 高音設定 HDCD(FILTER) 設定
■映像設定……34
映像出力信号設定 /
シャープネス設定 / ブライトネス設定 / コントラスト設定 / ガンマ補正 / 色度設定 / 彩度設定 / 壁紙設定
■初期設定……35-36
TV タイプ設定 /PBC 設定 / 音声言語設定 / 字幕言語設定 / ディスクメニュー言語設定 / バージョン情報 / 初期化 / 視聴制限設定
■パスワード設定……36
パスワードモード設定 / パスワード変更
■困ったときは……37
■おもな仕様……38
■保証とアフターサービス……39
■製品保証書……40

付属品の確認

本機には下記の付属品が同梱されております。 開封時には必ずこれらの有無をご確認ください。
セット内容の変更に伴い、 付属品の種類は変更になる場合があります。 予めご了承ください。

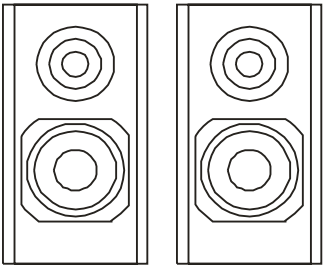


DVD プレーヤ本体 (1)



AV ケーブル (1)

リモコン (1)



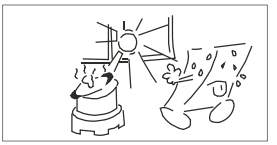
スピーカ (2)

取扱説明書 (1)

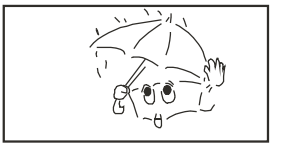
本機の設置場所について

本機は日本国内の摂氏 5 度～ 35 度までの温度で正常に作動するように設計されています。
これらの温度を下回る、 あるいは上回る環境で使用すると故障や誤作動の原因になります。
下記に挙げる環境下においては決して本機をご使用にならないでください。

・磁気を生じる場所
・振動の起きる場所

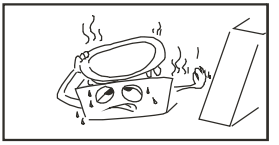


・ストーブなどの近く
・直射日光の当たる場所



・水や水蒸気のある場所
・雨や水のかかる屋外

・不安定な場所



・通気を妨げる場所

「安全上のご注意」(P4 ～) と「本機の設置」(P14) と設置の注意事項は必ずお読みください。

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、 財産への損害を未然に防止するため、 必ずお守りいただくことを、 次のように説明しています。

■表示内容を無視して、 誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度、 次の表示で区分して説明しています。

⚠警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただきたい内容の種類を次の絵表示で区分して説明しています。

(下記は絵表示の一例です)

このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

このような絵表示は、 してはいけない「禁止」内容です。

このような絵表示は、 必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

電源コードやプラグを傷つけない

無理な折り曲げ、 ねじり、 加熱、 加工、 重量物の下敷きなどは電源コードの皮膜の破損、 芯線のむき出しの原因となり、 ショートや絶縁不良による火災や感電につながります。

●プラグを抜くときは根本を持ち、 まっすぐ抜いてください。

●修理は販売店にご相談ください。

異常が発生したときは電源を切り、 電源プラグを抜く

そのまま使うと、 ショートや絶縁不良で発熱し、 火災や感電の原因になります。

下記の症状の場合は絶対に正しく処置してください。

○煙が出る　○異常に熱い　○異常なにおいや音がする　○内部に水や異物が混入した。

分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があります。 分解や改造は、 火災・感電・故障の原因になります。

●修理・調整は販売店にご依頼ください

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

AC100V(50/60Hz) の電源電圧で使用する

日本国内専用です。 それ以外の電源電圧で使用すると火災・感電・故障の原因になります。

●タコ足配線などの場合も、 加電流で発熱し、 火災・故障の原因になります。

電源プラグは根元まで差し込む

不完全な差し込みは発熱による火災・感電の原因になります。

●傷んだプラグは使用しないでください。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れない

落雷すると誘電により感電の原因になります。

水をかけたり濡らしたりしない

内部に水が入ると、 ショートや絶縁不良で発熱し、 火災・感電・故障の原因になります。

●内部に水が入った場合は、 使用を停止し、 販売店にご相談ください。

⚠注意

不安定な場所や振動する場所に置かない

本機が落下し、 ケガや故障の原因になります。

●本機の上にものを置いたり乗ったりしないでください。

風通しの悪いところや狭い場所に置かない

内部に熱がこもり、 高温になると機器が変形したり、 発熱･火災・感電の原因になります。

●設置の際は壁から 10cm 以上離してください。

直射日光のあたる場所や温度が高い場所に置かない

機器表面の部品が劣化・変形し、 内部回路に悪影響が生じることでショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電の原因になります。

●ストーブの近くなどもご注意ください。

油煙や湯気、 湿気、 ほこりが多い場所に置かない

本機内部や端子部に水やほこりが入り、 内部回路に悪影響が生じることでショートや絶縁不良で発熱し、 火災・感電の原因になります。

長期間使用しないときは、 電源プラグを抜く

ほこりの堆積によりショートし、 火災・感電・故障の原因になります。

●プラグは時々点検してください。

移動する場合は電源を切り、 コード類を全て外す

接続した状態で移動するとコードが傷つき、 火災・感電の原因になります。 また、 機器が落下し、ケガの原因になります。

本機の上にものを置いたり、 乗ったりしない

転倒や落下などによりケガの原因になります、 また、 重量で筐体が変形し、 放熱効果の悪化や内部回路に悪影響が生じることでショートや絶縁不良で発熱し、 火災・感電の原因になります。

●特に小さなお子様にはご注意ください。

コイン型電池に関するご注意

⚠警告

コイン型電池は、 幼児の手の届く場所に置かない

コイン型電池をお子様やペットが飲み込んだりすると、 中毒の原因になります。 もし、 お子様やペットが飲み込んだ場合は医師に相談してください。

電池から漏れた液には触れない

液漏れが発生し、 液が手や衣服に付着したときは、 水でよく洗い流してください。
目に入ったときは、 失明の恐れがあります。 目をこすらずに、 すぐにキレイな水で洗い流してください。 その後、 迅速に医師にご相談ください。

⚠注意

電池は極性表示（＋／－）を確かめ正しく入れる

極性を間違えると、 液漏れ・発熱・発火・破裂などを引き起こし、 ケガの原因になります。

充電式電池や指定以外の電池は使用しない

指定外の電池を使用すると、液漏れ･発熱･発火･破裂などを引き起こし、 ケガの原因になります。

電池を加熱・分解したり、 火や水の中へ入れない

液漏れ・発熱・発火・破裂などを引き起こし、 ケガの原因になります。

電池の電極部（＋／－）に金属物を接触させない

電池がショートし、 液漏れ・発熱・発火・破裂などを引き起こし、 ケガの原因になります。

●コイン型電池を保管・携帯するときは、 ポリ袋などに入れてください。

●廃棄する場合は電極部にビニールテープなどを貼ってください。

スピーカ設置のご注意

⚠警告

スピーカケーブルを引っかかりやすい場所に這わせない

つまずいて転倒したり、 スピーカ落下により、 ケガや事故の原因になります。

不安定な場所に置かない

危険ですので傾いた場所や土台の不安定な場所には置かないでください。 スピーカ落下により、ケガや事故の原因になります。

⚠注意

スピーカの上に電子機器を置かない

磁力によりデータが消失する可能性があります。

スピーカに衣類をかけたり、 ぶら下がったりしない

スピーカが転倒し、 事故やケガの原因になる恐れがあります。

スピーカケーブルの上に重いものを載せない

ケーブルを機器の下敷きにしたり、 家具や棚の間に挟みこむと、 皮膜が破損し、 火災や事故の原因になります。

非防磁スピーカをテレビの近くに置かない

非防磁スピーカをテレビの近くに設置する場合は、 画面に色ムラが生じることがありますので、20cm 以上離して設置してください。

MEMO

床に直接置いて低音がこもるように感じられるときには、 ブロックなどのしっかりした台の上に置くと、低音が床に響かず、 スッキリとすることがあります。

ディスク使用上のご注意

⚠警告

レーザに注意

本機で使われているレーザ光が目にあたると危険ですので、 レンズを直接真上から見ないでください。 視力障害の原因になります。

クラス 1 レーザ製品について
本機は、 レーザシステムと CLASS 1 LASER PRODUCT を内蔵しています。 弱いレーザ光のため、 人体に大きな影響はありませんが、 レーザ光線による視力低下を防ぐために、 絶対に本機を分解しないでください。

ディスクホルダ (トレイ) は必ず閉じておく

本機には精密レンズが内蔵されています。 この部分にほこりが付かないよう、 ディスクホルダ (トレイ) は必ず閉じてください。

●レンズに手を触れないでください。

●金属などの異物を入れないでください

ディスクの挿入口に手を入れない

閉まるときにはさまれてケガの原因になることがあります。 特にお子様にはご注意ください。

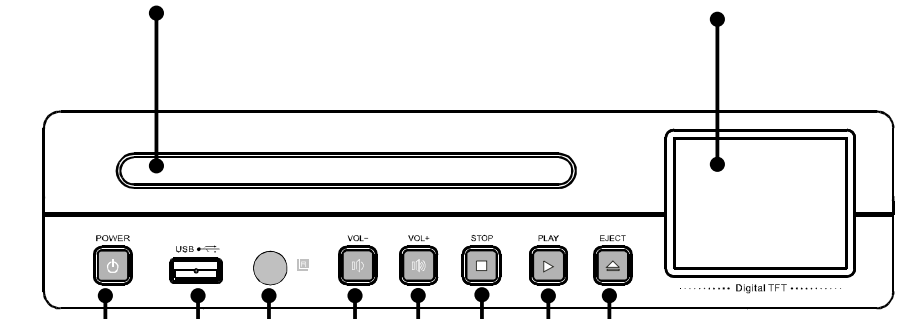
結露 (露つき) 現象について

■結露 (露つき) とは
冬季など、 暖房のきいた部屋の窓ガラスに水滴が付くことがあります。
このような現象を結露 (露つき) と申します。
■結露 (露つき) が発生する状況
・暖房を始めた直後の部屋に移動させたとき
・湿度の高い場所に持ち込んだとき
・冷たい場所から、 急に暖かい場所に持ち込んだとき
・エアコンのそばなど、 冷風が直接当たる場所で使用するとき
■結露 (露つき) が生じた場合
・正常なディスクの読み取りができず、 プレーヤが正しく動作しないことがあります。
・電源を入れ、 20 ～ 30 分待ってからご使用ください。

各部のなまえ（前面）

ディスクトレイ
トレイの開閉は本体の「EJECT」ボタンまたはリモコンの「開閉」ボタンを押します。

TFT 液晶モニター
モニターを非表示にする場合はリモコンの「モニター」ボタンを押します。



（左から）
音量 -[VOL -]
音量 +[VOL+]
停止 [STOP]
再生 [PLAY]
開閉 [EJECT]

リモコン用センサー
リモコンをココに向けて操作してください。

電源 [POWER] ボタン
スタンバイ状態の時はボタン中央が赤く点灯します。

USB 端子
フラッシュメモリなどに記録した MP3 ファイルを USB 接続で再生する場合に使用します。

液晶モニターについてのご注意
液晶パネルは非常に高精度な技術で作られており、 99.9%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、 あらかじめご了承ください。

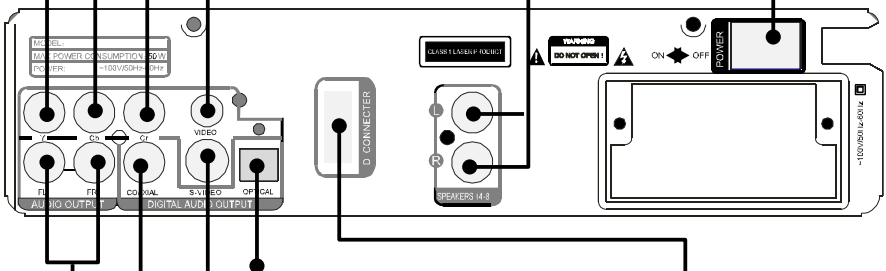
各部のなまえ（背面）

コンポーネント映像出力端子
コンポーネントケーブル（市販品）をテレビのコンポーネント映像入力端子に接続してください。

コンポジット映像出力端子
テレビの映像入力端子（黄色）と接続してください。

スピーカー音声出力端子
付属のスピーカーの左（L）と右（R）を正しく接続してください。

主電源スイッチ
電源を完全に切るにはスイッチを「OFF」にしてください。



光デジタル音声出力端子
光デジタル入力端子のあるAV機器と接続する場合に使用します。

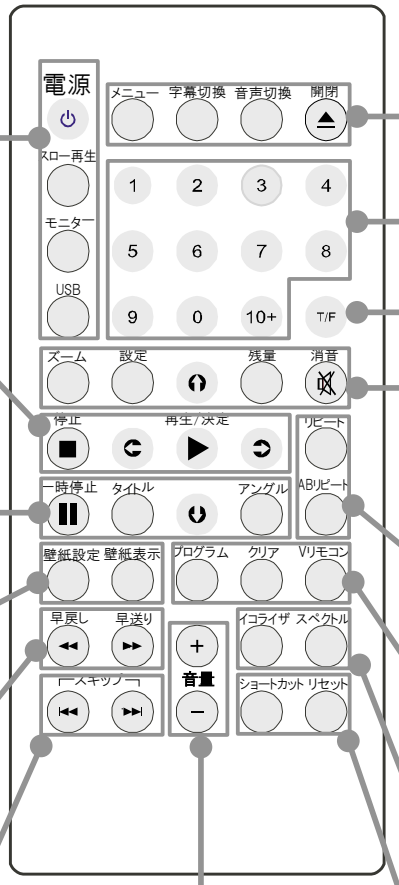
S映像出力端子
S映像入力端子のあるテレビジョンと接続する場合に使用します。

同軸デジタル音声出力端子
同軸デジタル音声入力端子を備えたAV機器とデジタル接続する場合に使用します。

アナログ音声出力端子
テレビの音声入力端子と接続してください。
付属スピーカーを接続する場合は必要はありません。

D映像出力端子
D映像入力端子のあるテレビジョンと接続する場合に使用します。 接続する場合は市販品のD端子ケーブルが必要です。

各部のなまえ（リモコン）



（上から）
電源ボタン（P20）
スロー再生ボタン（P22）
モニターボタン（P20）
USB ボタン（P27）

（左から）
停止ボタン（P22）
カーソル左ボタン
再生／決定ボタン（P22）
カーソル右ボタン

（左から）
一時停止ボタン（P22）
タイトルボタン（P24）
カーソル下ボタン
アングルボタン（P25）

（左から）
壁紙設定ボタン（P26）
壁紙表示ボタン（P26）

（左から）
早送りボタン（P22）
早戻しボタン（P22）

（左から）
スキップ前ボタン（P22）
スキップ次ボタン（P22）

（上から）
音量＋ボタン（P21）
音量－ボタン（P21）

（左から）
メニューボタン（P24）
字幕ボタン（P24）
音声切換ボタン（P24）
開閉ボタン（P20）

数字ボタン（P23）

T/F（表示）ボタン（P25）

（左から）
ズームボタン（P25）
設定ボタン（P29）
カーソル上ボタン
残量表示ボタン（P24）
消音表ボタン（P21）

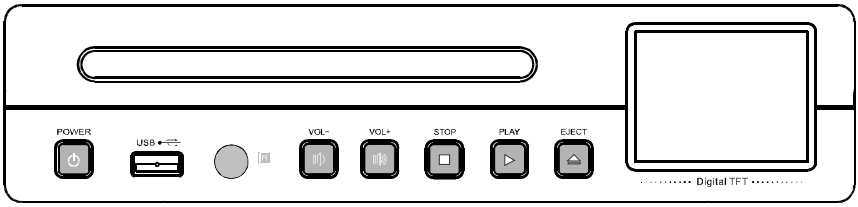
（上から）
リピートボタン（P23）
AB リピートボタン（P23）

（左から）
プログラムボタン（P23）
クリアボタン（P23）
V リモコンボタン（P26）

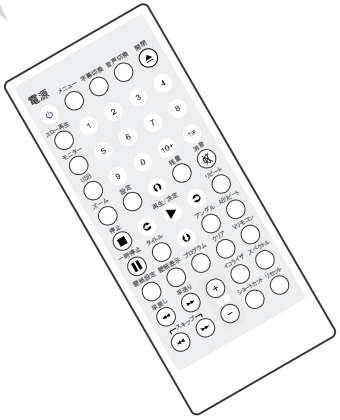
（左から）
イコライザボタン（P21）
スペクトルボタン（P21）

（左から）
ショートカットボタン（P20）
リセットボタン（P20）

リモコン操作



リモコンで本機を操作する場合は赤外線受光部にリモコンを向けて操作してください。 リモコンの操作可能範囲はセンサーから 7m 以内です。



ご注意

・赤外線センサー受光部に強い光が当たるとリモコンが正しく作動しません。
・リモコンの電池が消耗すると正しく作動しません。
・本機のリモコンによって他機器が誤作動する場合は直ちにリモコンの使用を中止してください。

■リモコンの使用についてのご注意

・本書「電池に関するご注意」(P07) を必ずお読みください。
・付属の電池は動作確認用です。
・リモコンを落としたり、 強い衝撃を加えないでください。
・リモコンにお茶や珈琲をこぼさないでください。
・リモコンの文字表記は改良等により本書と異なる場合があります。

本機の設置

スピーカの設置は本書の「安全上のご注意」もお読みのうえ、 正しく設置してください。

本機は重量がありますので、 設置の際は落下等のケガに十分にご注意ください。

■基本的な設置

スピーカがリスニングポジションの正面にくるように設置します。

放熱スペースについて

本機の側面と上面部には必ず 10cm 以上の放熱スペースを設けるように設置してください。 本機はご使用に伴い、 多少の熱を発生します。 熱がこもると故障や事故の原因になりますので、 通気性に留意し、 確実な放熱スペースを確保してください。

防磁について

本機は防磁設計になっておりますが、 万一テレビに色ムラなどが生じる場合には、 テレビと本機の距離を離してご使用ください。

スピーカ設置に関するご注意

■引っかかりやすい場所に配線を這わせない
つまずいて転倒したり、 スピーカ落下により、ケガや事故の原因になります。

■不安定な場所に置かない
危険ですので傾いた場所や土台の不安定な場所には置かないでください。 スピーカ落下により、 ケガや事故の原因になります。
また、 設置に際しては地震による振動やお子様の接触を十分に考慮してください。

重大な事故の予防のため、
必ずお守りくださりますようお願いいたします。

■スピーカの上に電子機器を置かない
本機は防磁型ですが、 磁力によりデータが消失する可能性があります。

■衣類をかけたり、 ぶら下がったりしない
スピーカが転倒し、 事故やケガの原因になる恐れがあります。

ポップノイズについて

トラックの切れ目やオーディオ機器の組み合わせにより、 システムの電源を起動したときや操作を行った場合にスピーカからポップノイズ (ボッ音、 プチ音) が発生する場合があります。
本機の電源を ON にした後で、 外部機器の電源を ON にした場合などは特にノイズが入りやすくなります。 モードボタンでサラウンドモードを切り換える時もノイズが発生しやすくなります。
いずれもポップノイズによる音響機器の動作や音質には支障ありません。

取扱上のご注意

■ディスクのお手入れ

コンパクトディスクの汚れやごみ、 キズ、 そりなどが雑音の原因になることがあります。 次のことにご注意ください。

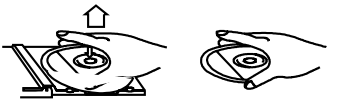
●ディスクをケースから取り出す場合は演奏面にキズを付けないようにディスクの端を持ってください。

●ディスクを折り曲げないようにしてください。

●従来のレコード盤に使用されているレコードクリーナーやスプレーおよび静電気防止剤は使用できません。

●コンパクトディスクに指紋等が付いて汚れたときは、 水を含ませた柔らかい布で拭いた後、 乾いた布で拭いてください。

●ディスクを拭くときは、 必ず内側から外側方向に拭いてください。 同心円上のキズは雑音になりやすいためです。



▲ディスクの端を持ちます

▲内側から外側へ向けてふく

▲円周方向のキズは NG です

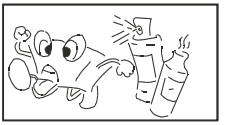
■ディスクの保管

ディスクはケースに入れて正しく保管してください。
直射日光のあたる場所や暖房器具の近くには置かないでください。
炎天下の車内に放置しないでください。 温度の高い場所で保管しないでください。
浴室は加湿器のそばなど、 湿気やホコリの多い場所では保管しないでください。

筐体のお手入れについて

やわらかい布でふいてください。 汚れがひどいときは、石鹸水を少し布につけてふき、あとはからぶきしてください。

ご注意
ベンジンや殺虫剤をかけますと変質や変色の原因になりますのでご使用にならないでください。



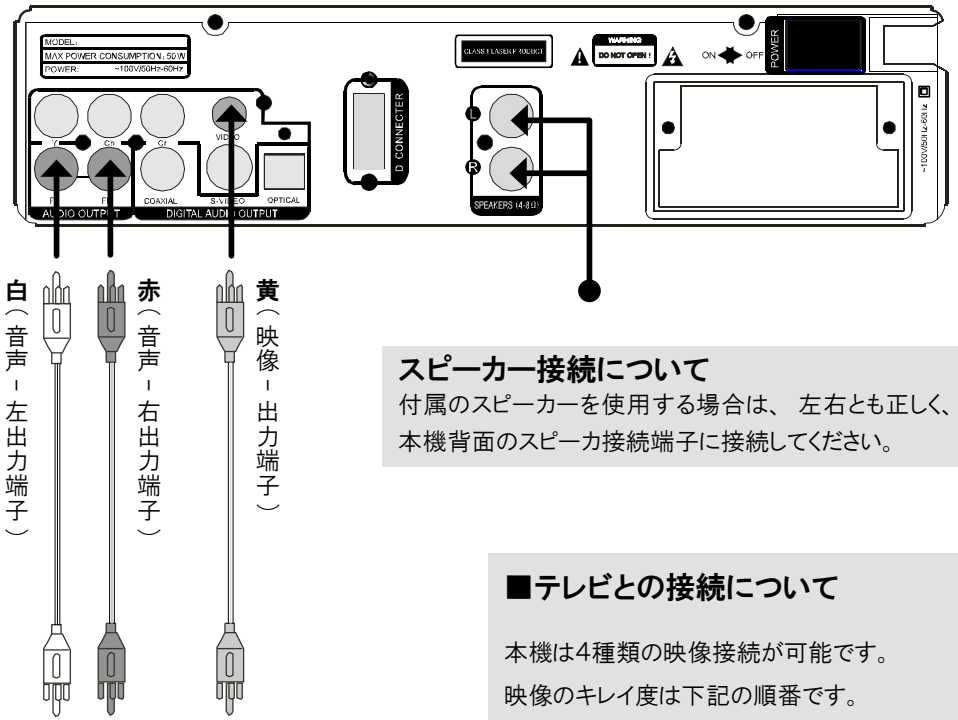
免責事項

お客様または第三者が本製品の誤使用または使用中に生じた故障、 またその他の不具合等を含め、 本製品の使用によって受けられた損害については、 法令上賠償責任が認められる場合を除き、 当社は一切その責任を負いませんので、 あらかじめご了承ください。
本機は一般家庭用機器として製造された商品です。 一般家庭用以外（飲食店等での長時間再生、 車両や船舶への搭載使用）でご使用し故障が発生した場合は保証期間内でも有償修理を承ります。

テレビとの接続

■映像（黄色）端子・音声入力端子付きテレビと接続する場合

本機の出力端子とテレビジョン側の入力端子の色を合せて正しく接続してください。



スピーカー接続について

付属のスピーカーを使用する場合は、 左右とも正しく、本機背面のスピーカ接続端子に接続してください。

■テレビとの接続について

本機は4種類の映像接続が可能です。

映像のキレイ度は下記の順番です。

① D 映像入力端子

② コンポーネント映像入力端子

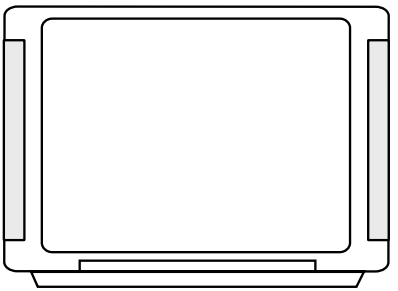
③ S 映像入力端子

④ 映像入力端子（黄色）

接続前にお使いのテレビの映像入力端子をご確認ください。

接続に応じた TV 設定を正しく行ってください。

設定を誤ると映像が乱れます。



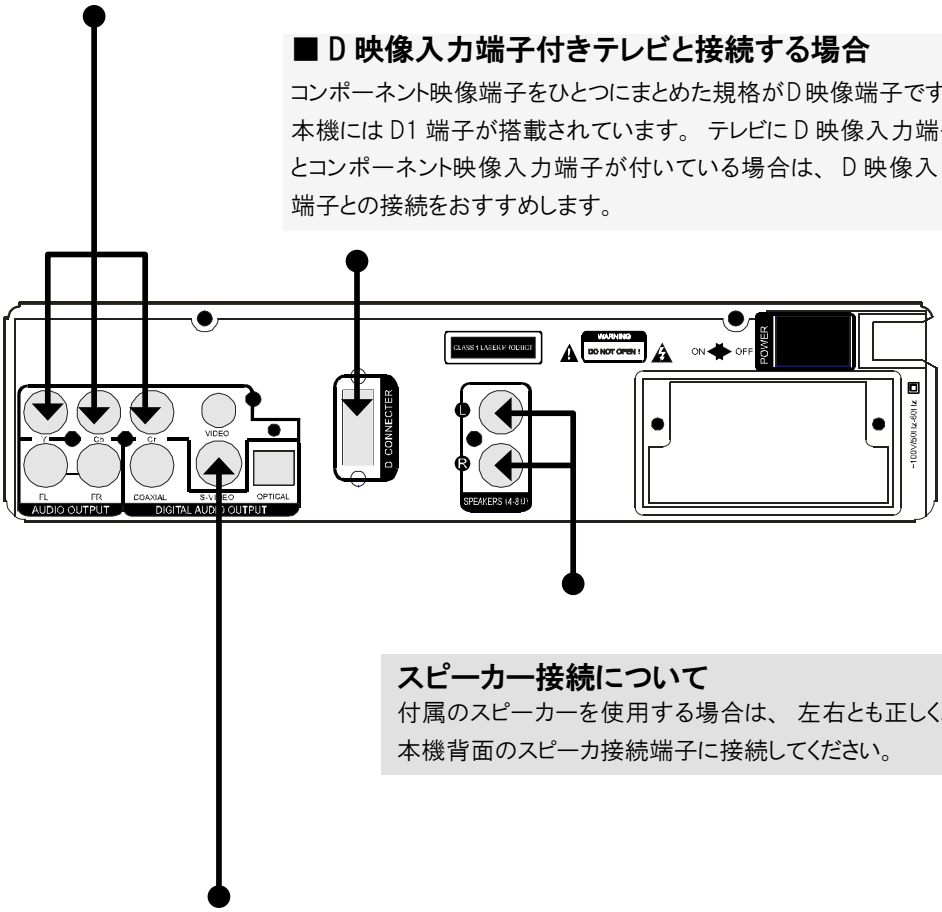
音声入力端子付テレビジョン

■コンポーネント映像入力端子付きテレビと接続する場合

ハイビジョンテレビに接続する場合はコンポーネント映像ケーブル（ 市販品 ）で接続してください。
コンポーネント端子は色信号（Pb/Cb、 Pr/Cr）と輝度信号（Y）を分けて出力するため、 よりキレイな映像を楽しむことができます。
テレビによってはコンポーネント映像（ 色差 ）の入力端子の切り換えが必要なものがあります。
詳しくはお使いのテレビの取扱説明書にしたがって操作してください。

■ D 映像入力端子付きテレビと接続する場合

コンポーネント映像端子をひとつにまとめた規格がD映像端子です。
本機には D1 端子が搭載されています。 テレビに D 映像入力端子とコンポーネント映像入力端子が付いている場合は、 D 映像入力端子との接続をおすすめします。



スピーカー接続について

付属のスピーカーを使用する場合は、 左右とも正しく、本機背面のスピーカ接続端子に接続してください。

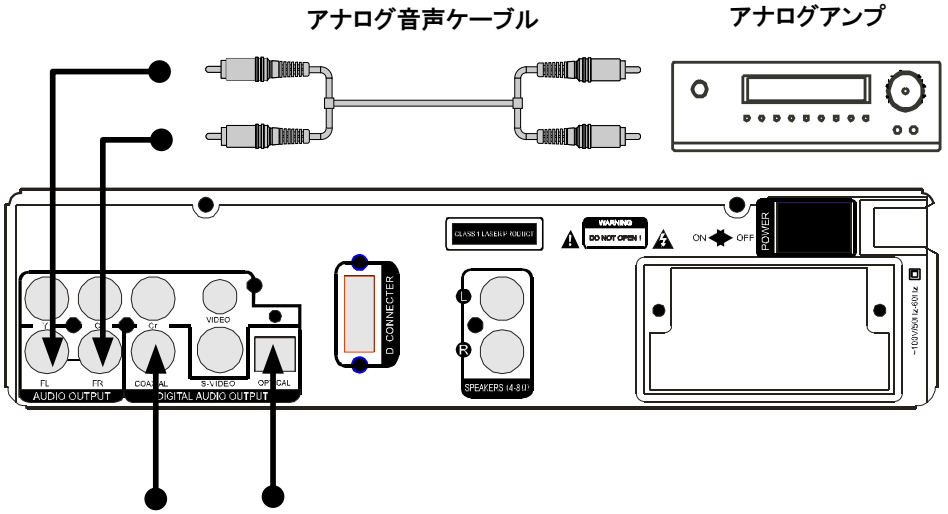
■ S 映像入力端子付きテレビと接続する場合

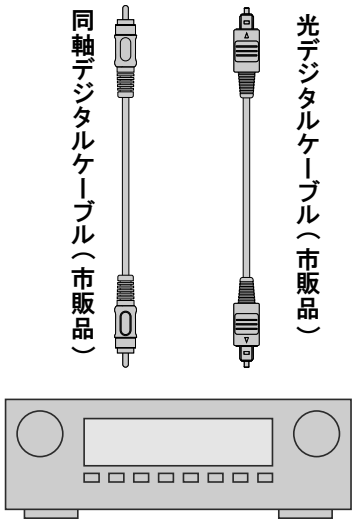
コネクタの上下の向きに注意して、それぞれの S 映像入力端子を市販のケーブルを使って正しく接続してください。

外部機器との接続

■アナログ接続で音声を再生する

●本機の音声を 2ch オーディオ機器で再生する場合の接続です。
●本機背面の音声出力端子を外部機器の音声入力端子と接続してください。
●本書「アナログ音声設定」(P32) も併せてお読みください。
●設定を誤ると音声が正しく出力されません。





■デジタル接続で音声を再生する

● 5.1ch サラウンドサウンドを楽しむ場合は、 デジタル接続を行ってください。
●デジタル接続には市販品の「光デジタルケーブル」または「同軸デジタルケーブル」が必要です。
●光デジタルケーブルは接続する機器の端子に合ったタイプを選択してください。 本機の光デジタル端子は「角型プラグ」です。
●本書「デジタル音声設定」(P32) および「ドルビーデジタル設定」(P33) も併せてお読みください。
●設定を誤ると正しく出力されません。

再生できるディスクについて

■リージョン番号について

リージョン番号とは発売地域別に DVD ビデオソフトと再生機器に割り当てられた番号です。
本機のリージョン番号は「2」です。
本機は「2」(および「2」を含むもの) と「ALL」が表示された DVD ビデオの再生が可能です。

■再生できるディスク

DVD	DVD ビデオ、 DVD+R、 DVD-R、 DVD+RW、 DVD-RW
CD	ビデオ CD、 CD(CD-DA)、 CD-R、 CD-RW、 HDCD、 SVCD
その他	コダックピクチャー CD

■再生できないディスク

上記 (再生できるディスク) 以外のディスクは再生できません。
上記のアイコンが添付されている場合でも、 DVD オーディオ、 DVD-RAM、 DVD-ROM、 その他本機がサポートしていない形式のディスクは再生できません。
DVD ± R/RW や CD-R/RW ディスクであっても記録方式や記録状態によって再生できないことがあります。

■ DVD レコーダーなどで記録したディスクについて

「ビデオモード」でフォーマットを行い、 ファイナライズ処理をした DVD ± R/RW ディスクは「DVD ビデオ」として再生できます。「VR モード」でフォーマットを行ったディスクは再生できない場合があります。

■ビデオ CD について

本機は PBC 付きビデオ CD(バージョン 2.0) に対応しています。

PBC 対応 VCD(2.0)	メニュー画面を使って再生したい部分の検索や選択が可能
PBC 非対応 VCD(1.1)	音楽用 CD と同じ操作で映像と音声を再生します。

■その他の注意

CD-DA 規格に準拠していない CD(コピーコントロール CD など) は、 動作や音質の保障ができません。
MP3 は ISO9660 に準拠したディスクでないと再生できません。
MP3 及びピクチャー CD のフォルダ名やファイル名の日本語表示はできません。 また入力の方法によっては文字化けする場合があります。
ディスクによっては記録方式や記録状態によって再生できないことがあります。
本機はすべてのディスクに対して再生互換の保障がされているわけではありません。

基本的な操作

■電源の ON/OFF

1 本体背面の「 主電源 」スイッチを【ON】にする。
本体の「POWER」ボタンが点灯 (赤色) し、 待機状態になります。

2 本体の「POWER」ボタンまたはリモコンの「 電源」 ボタンを押す。
ディスプレイおよび操作ボタンが点灯し電源が【ON】になります。

● 電源を完全に OFF にするには必ず本体背面の「 主電源 」スイッチを【OFF】にしてください。

■ディスクのセット

1 本体の「EJECT」またはリモコンの「開閉」 ボタンを押してトレイを開く。
ディスクトレイに合わせてディスクを載せてください。

2 本体の「EJECT」またはリモコン「開閉」 ボタンを押してトレイを閉める。
CD や VCD は自動的に再生を開始します。
DVD の場合はメニュー画面が表示される場合があります。

■メニュー画面が表示された場合

1「カーソル (矢印)」 ボタンを押して項目を選択する。

2「再生 / 決定」 ボタンを押してメニュー内容を決定する。

■ショートカット機能

一部の DVD ではディスクの読み込み後すぐに、 リモコンの「ショートカット」 ボタンを押すと、 警告画面などをスキップして素早くタイトル画面を表示させることができます。

≪ご注意≫

ディスクによっては機能しない場合があります。

■リセット機能

リモコンの「リセット」 ボタンを押すと本機の設定を工場出荷時の設定 (初期状態) に戻すことが可能です。 設定が分からなくなった場合にご使用ください。

■液晶モニターの ON/OFF

本機の液晶モニターの表示と非表示を切り換えるにはリモコンの「モニター」 ボタンを押します。

音の調整機能

■音量の調節

● 本体の「VOL」ボタンまたはリモコンの「音量」ボタンを押して音量を調整します。

● 音量のレベルは「00」から「50」までの数値で変化します。

≪ご注意≫

音量の初期設定数値は固定されています。

■消音機能

● リモコンの「消音」ボタンを押すと再生中の音声を一時的に消去します。

● 消音機能を解除するには再度、「消音」ボタンまたは「音量」ボタンを押します。

■イコライザ切換

本機では再生時に 7 種類の音質を切り換えることができます。

1 リモコンの「イコライザ」ボタンを押す。

EQ モードが切り換わります。

● 機能を使用しない場合は「切」を選択します。

選択できる音質
ロック [ROCK]
ポップ [POP]
ライブ [LIVE]
ダンス [DANCE]
テクノ [TECHNO]
クラシック [CLASSIC]
ソフト [SOFT]

■周波数成分表示 (スペクトラムアナライザ)

音源の周波数成分をディスプレイに表示します。

1 リモコンの「スペクトル」ボタンを押す。

ボタンを押すたびに表示 / 非表示が切り換わります。

■本機で再生できる音声の種類

ドルビーデジタル

現在主流となっている DVD の音声圧縮方式です。 5.1ch サラウンドで記録されているソフトもありますが、 モノラルやステレオで記録されているソフトもあります。

PCM

ドルビーデジタルのような音声の圧縮を行わない記録方式です。 音楽を収録した CD や DVD などに用いられている記録方式です。 LPCM の場合 48kHz や 96kHz などの表示があります。

MP3

CD と同等の音質のデジタル音楽データを約 10 分の 1 に圧縮しています。 MPEG1 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数 32kHz、 44.1KHz、 48kHz で記録されたファイルに対応しています。

WMA

Windows Media Audio の略。 MP3 より圧縮率が高いのが特徴です。

基本的な再生

■再生

本体の「PLAY」またはリモコンの「再生 / 決定」ボタン（▶）を押すと再生を開始します。

■停止

1 再生中に本体の「STOP」またはリモコンの「停止」ボタン（ ■ ）を押す。
停止ボタンを押すとリジューム再生状態になります。

2 再生を完全に停止するには再度、「停止」ボタンを押す。

■リジューム再生

- 再生を停止すると本機は停止した箇所を記録します。
- 次に「再生 / 決定」ボタン（▶）を押すと、 先に停止した箇所から再生を開始します。

■スキップ再生

1 再生中にリモコンの「スキップ」ボタン（|◀◀ または ▶▶|）を押す。
押した回数だけ押した方向にスキップを行います。

≪ご注意≫

音楽 CD の 1 曲目を再生中に|◀◀ボタンを押すと本機は停止状態になります。

■サーチ再生（ 早戻し / 早送り ）

1 再生中にリモコンの「早戻 / 早送」ボタン（◀◀ または ▶▶）を押す。
ボタンを押すたびに再生速度が 2 倍、 4 倍、 8 倍、 16 倍、 32 倍に変化します。

2 再生を通常の速度に戻すには「再生 / 決定」ボタンを押す。

■一時停止

1 再生中にリモコンの「一時停止」ボタン（❚❚）を押す。
再生を一時停止します。

2 機能を解除するには再度、「一時停止」（❚❚）ボタンを押す。

■スロー再生

1 再生中にリモコンの「スロー再生」ボタンを押す。
ボタンを押すたびに再生速度が順番に変化します。

2 再生を通常の速度に戻すには「再生 / 決定」ボタン（▶）を押す。

- スロー再生は DVD ディスクのみに機能します。

便利な再生機能

■リピート再生

1 再生中にリモコンの「リピート」ボタンを押す。
ボタンを押すたびにリピート方法がディスプレイに現れます。

CD/VCD	TRACK(1 曲)	ALL(全曲)	OFF(切)	
DVD	CHAPTER	TITLE	ALL	OFF(切)
MP3/WMA	SINGLE(一回再生)	REPEAT ONE(1 曲)	REPEAT FOLDER	NORMAL(通常再生)

2 リピートボタンを押して、 リピート方法を選択する。
機能を解除するには「リピート」ボタンを押して表示を消します。

■特定区間 (A-B) リピート再生

この機能は任意に指定した特定区間を連続再生する機能です。

1 区間リピート再生の開始位置 (A 地点) でリモコンの「リピート AB」ボタンを押す。
TV 画面に「A」表示が現れます。

2 リピート再生の終了位置 (B 地点) でリモコンの「リピート AB」ボタンを押す。
TV 画面に「AB」表示が現れ、 区間リピート再生を開始します。

3 機能を解除するには再度、「リピート AB」ボタンを押す。

■プログラム再生

DVD に収録されたチャプターや CD や VCD に収録されたトラックを 20 プログラムまで再生することができます。

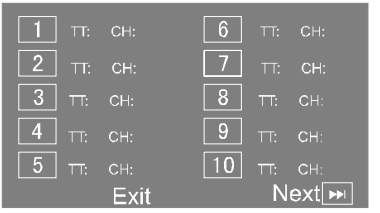
1 リモコンの「プログラム」ボタンを押す。
TV 画面にプログラムメニューが表示されます。

2「数字」ボタンを押してプログラム番号を入力する。

3 プログラムを終了したら「カーソル」ボタンを押して
TV 画面下の「START」を選択する。

4「再生 / 決定」ボタンを押す。
本機が自動的にプログラム再生を開始します。

DVD のプログラム画面



■数字の設定方法について (例)
「15」を入力する場合は、
「10+」と「5」を押す。
「36」を入力する場合は、
「10+」を 3 回押し「6」を押す。

■数字を訂正する場合
「クリア」ボタンを押す。

■プログラム再生の解除

1「プログラム」ボタンを押す。
プログラムメニューを表示させます。

2「カーソル」ボタンを使い、「STOP」を選択する。

便利な表示機能

■ DVD メニュー表示

再生中にリモコンの「タイトル」ボタンを押すと、 ディスクに収録されているタイトルメニュー画面を表示することができます。
「メニュー」ボタンを押すと、 ディスクのルートメニューを表示することができます。
それぞれのメニュー画面が表示されたら、リモコンの「カーソル」ボタンを押して項目を選択します。
続けてリモコンの「再生 / 決定」ボタン（▶）を押すと選択した項目に移動します。
≪ご注意≫
この操作は複数のタイトルメニューおよびサブメニューが収録されているディスクのみに機能します。
メニューが記録されていないディスクでは操作できません。
ディスクによっては「数字」ボタンを使用する場合など、 操作が異なる場合があります。
「メニュー」 ボタンでタイトルメニューが表示されるディスクもあります。

■ PBC 機能

本機は PBC(プレイバックコントロール) 機能つきビデオ CD(バージョン 2.0) に対応しています。
PBC 対応ディスクではメニュー画面がディスプレイ上に表示されますので操作しやすくなります。
PBC 機能の ON/OFF はリモコンの「メニュー」ボタンを押して切り換えます。

■音声言語の変更

再生中にリモコンの「音声切替」ボタンを押すと、 初期設定で選択した言語を他の言語に変えることができます。
CD や VCD では音声チャンネル (LEFT MONO/RIGHT MONO/MIX-MONO/STEREO) を切り替えることが可能です。
吹き替え音声の収録された DVD やカラオケディスクなどを楽しむときに使用します。
≪ご注意≫
この操作は複数の音声言語が記録されているディスクのみに機能します。

■字幕言語の変更

再生中にリモコンの「字幕」ボタンを押すと、 初期設定で選択した字幕言語を他の言語に切り替えることが可能です。
≪ご注意≫
この操作は複数の字幕言語が記録されているディスクのみに機能します。

■残量時間表示

再生中にリモコンの「残量表示」ボタンを押すと、トラックやチャプター再生時のや経過時間や時間残量を表示することが可能です。

■ズーム機能

DVD 再生中にリモコンの「ズーム」ボタンを押すことで、画面サイズを 2 倍、3 倍、4 倍、1/2 倍、1/3 倍、 1/4 倍に変更することができます。
リモコンの「ズーム」ボタンを押すたびに倍率が変化します。
リモコンの「カーソル」ボタンを押すことでズーム箇所の移動が可能です。

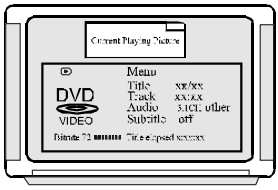
■アングル機能

複数のアングルが記録されたディスクでは再生中にリモコンの「アングル」ボタンを押すことで記録されたアングルを切り替えることが可能です。
リモコンの「アングル」ボタンを押すたびにディスクに記録されたアングル表示番号が切り替わります。
≪ご注意≫
この機能は複数のアングルが記録された DVD ディスクのみに機能します。

■ DVD/VCD データー覧表示機能

ディスクの再生中にリモコンの「T/F(機能表示)」ボタンを押すとディスクに記録されたデータ (DVD9 項目、 VCD5 項目) を表示することができます。

DVD の表示項目
タイトル [TITLE]
チャプター [CHAPTER]
音声設定 [AUDIO]
字幕設定 [SUBTITLE]
アングル [ANGLE]
タイトル時間 [TT TIME]
チャプター時間 [CH TIME]
リピート [REPEAT]
表示時間 [TIME DISPLAY]



▲ DVD の表示例

▲ VCD の表示例

VCD の表示項目
トラック [TRACK]
合計時間 [DISC TIME]
トラック時間 [TRACK TIME]
リピート [REPEAT]
表示時間 [TIME DISPLAY]

表示項目の数値を変更するには

リモコンの「再生 / 決定」ボタンを押して項目を選択し、「カーソル」または「数字」ボタンを押して数値を変更します。 数値を訂正する場合は「クリア」ボタンを押します。

■ CD サーチ機能

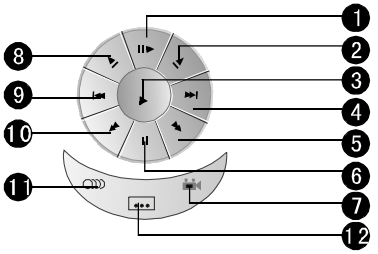
CD 再生中にリモコンの「T/F(機能表示)」ボタンを押すとディスク内の任意の地点を選択して移動することができます。
数字ボタンを使い、 時間やトラック番号を入力すると自動的に指定の箇所に移動します。

DISC 時間 (DISC GO TO)	ディスク内の時間を指定します。
TRACK 時間 (TRACK GO TO)	トラック内の時間を指定します。
TRACK 選択 (SELECT TRACK)	トラック番号を直接指定します。

特殊な機能

■バーチャルリモコン機能

リモコンの「V リモコン」ボタンを押すとディスプレイにバーチャルリモコン (下記画面) を表示します。
※ V リモコンの「V」はバーチャルの略です。
TV 画面にバーチャルリモコン画面を表示させ、「カーソル」 ボタンで操作すると、 通常のリモコンと同じように各機能を操作することができます。



① コマ送り	⑤ 早送り	⑨ 後スキップ
② スロー再生	⑥ 一時停止	⑩ 早戻し
③ 再生	⑦ アングル切替	⑪ 音声切替
④ 前スキップ	⑧ スロー戻し	⑫ 字幕切替

● VCD 再生時に「⑧スロー戻し」は機能しません。
●ディスクによっては機能しないボタンがあります。

■壁紙設定

DVD の任意の場面や JPEG 画像を本機の壁紙に設定することができます。
壁紙とは本機の停止中またはリジューム再生中にディスプレイに表示される画面のことです。
初期設定 (固定画像) では弊社のロゴが表示されます。

1 ディスクを再生または一時停止状態にする。
2 任意の画面でリモコンの「壁紙設定」ボタンを押す。
ディスプレイに「壁紙設定中」の表示が現れ、 画像を取り込みます。

■壁紙の表示 (切り換え)

1 停止またリジューム再生状態にする。
2 リモコンの「壁紙表示」ボタンを押す。
ボタンを押すたびに固定画像と取り込み画像が切り換わります。

自動電源 OFF 機能

本機は無操作状態が約 29 分継続すると自動的に電源がスタンバイ状態になります。
スタンバイ状態では本体の「POWER」ボタンが点灯状態になります。
● 電源を完全に「切」にするには本体背面の主電源を【OFF】にスイッチしてください。

データディスク /USB 機器の再生

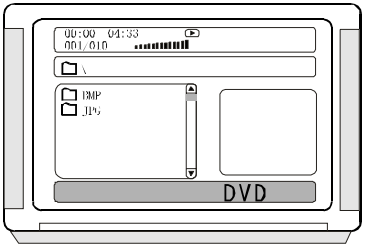
■ USB メモリの接続

1 本機の USB 端子に USB メモリを接続する。

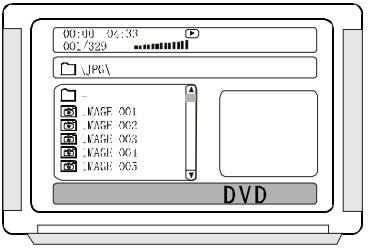
2 リモコンの「USB」ボタンを押す。

本機が USB メモリを読み込みディスプレイにナビ画面 (下記) が表示されます。

● ファイルが自動的に再生されない場合はカーソルボタンでフォルダ (ファイル) を選択します。



▲データを読み込むとディスプレイにデータ内のフォルダー一覧が表示されます。



▲フォルダを選択 & 決定するとフォルダ内のファイルが一覧表示されます。

≪ご注意≫

本機とパソコンを USB ケーブルで接続してファイルを再生することはできません。

容量の大きい USB メモリを接続した場合は読み込みに時間を要する場合があります。

本機ではすべての USB 機器の再生に対応しているわけではありません。

本機が対応している USB メモリは携帯フラッシュメモリやデジタルオーディオ再生機などの USB マスストレージクラスに属する機器です。

■データファイルの再生トラブルとそのおもな原因

症状	おもな原因
MP3/WMA ファイルが再生できない	DRM コピープロテクト (著作権保護) がかかったファイルは再生できません。
	サンプリング周波数が 32kHz、 44.1kHz、 48kHz 以外で記録された MP3 ファイルは再生できません。
	ISO9660 フォーマットに準拠していないディスクは再生できません。
MPEG4 ファイルが再生できない	DRM コピープロテクト (著作権保護) がかかったファイルは再生できません。
JPEG ファイルが再生できない	DCF 準拠以外のファイルは再生できません。
	ファイルサイズが大きいと読み込みに時間がかかります。

データファイルの再生

■ MP3/WMA/MPEG4 ファイルの再生

1 本機にファイル（MP3/WMA/MPEG4）が記録されたメディア（ディスク、USB 機器）を挿入する。
ディスプレイにナビ画面が表示されます。

2 リモコンのカーソル［▲▼◀▶］ボタンを押して再生したいフォルダ（ファイル）を選択する。

3 リモコンの［再生 / 決定］ボタンを押す。
選択したフォルダ（ファイル）の再生を開始します。

≪ご注意≫

ファイル数（トラック数）やフォルダ数が多い場合は読み込みに時間がかかることや再生できない場合があります。

ディスクの書き込み形式によっては再生順が変わる場合があります。

本機とパソコンでは表示順序が異なる場合があります。

記録方式によっては再生できない場合があります。

デジタルカメラなどで記録された音声付画像（Motion JPEG）は再生できません。

■写真ファイル（JPEG）の再生

1 本機に JPEG ファイルが記録されたメディア（ディスク、 USB 機器）を挿入する。
ディスプレイにナビ画面が表示されます。

2 リモコンのカーソル［▲▼］ボタンを押して再生したいフォルダを選択する。

3 リモコンの［再生 / 決定］ボタンを押す。
選択したファイルからスライドショーを開始します。

■写真再生のいろいろな機能

機能	使用ボタン
画像一覧表示	停止［■］ボタン
再生一時停止	一時停止［▮▮］ボタン
右 90 度回転	カーソル［▶］ボタン
左 90 度回転	カーソル［◀］ボタン
スキップ	スキップ［⏮/⏭］ボタン
ズーム	［ズーム］ボタン
ズーム倍率調整	サーチ［◀◀/▶▶］ボタン

≪ご注意≫

JPEG 以外の静止画（TIFF など）や音声付画像（Motion JPEG）は再生できません。

システム設定について

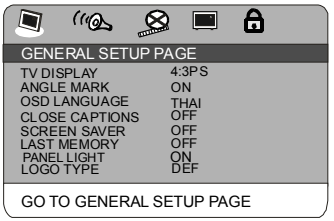
「システム設定」には画質調整や音声出力設定、 映像出力設定など、 本機をより活用していただくための各種設定項目があります。 ご使用環境に応じて正しく設定してください。
各設定項目についてはそれぞれのページをご覧ください。

● リモコンの「設定」ボタンを押すとディスプレイにシステム設定画面が表示されます。

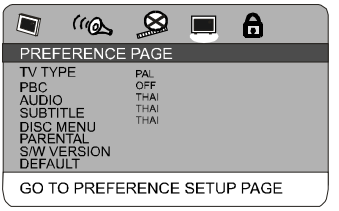
■システム設定でできること

● 「システム設定」は設定の目的別に 5 つのグループに別れています。
● 各グループはリモコンのカーソル [◀▶] ボタンを押して移動します。
● 初期設定 [PREFERENCE PAGE] を設定する場合はディスクをトレイから出してください。

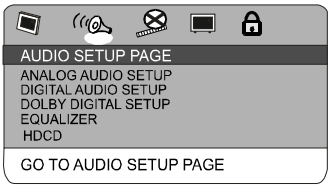
■一般設定 [GENERAL SETUP]



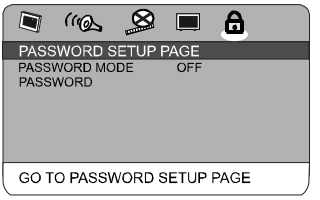
■初期設定 [PREFERENCE SETUP]



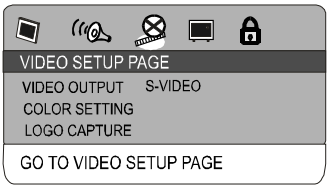
■音声設定 [AUDIO SETUP]



■パスワード設定 [PASSWORD SETUP]



■映像設定 [VIDEO SETUP]



■システム設定の方法

1 リモコンの「設定」ボタンを押す。
システム設定画面が表示されます。

2 リモコンのカーソル [▲▼◀▶] ボタンを押す。
ハイライト表示が各項目を移動します。

3 項目の決定には「再生 / 決定」ボタンを押す。

4 設定を終了するには「設定」ボタンを押す。

システム設定項目表

一般設定	TV 画面		P31
	アングルマーク		P31
	画面表示言語		P31
	キャプション		P31
	スクリーンセーバー		P31
	ラストメモリ		P31
	パネルライト		P31
	壁紙		P31
音声設定	アナログ音声出力	ダウンミックス	P32
		ポスト DRC	P32
	デジタル音声出力	デジタル出力	P32
		LPCM 出力	P32
	ドルビーデジタル	デュアルモノ	P33
		DRC 圧縮レベル	P33
	イコライザ	サウンドモード	P33
		低音増幅	P33
		重低音	P33
		高音増幅	P33
	HDCD	フィルター	P33
映像設定	映像出力信号		P34
	画質	鮮明度 (SHARPNESS)	P34
		明度 (BRIGHTNESS)	P34
		コントラスト (CONTRAST)	P34
		ガンマ (GAMMA)	P34
		色度 (HUE)	P34
		彩度 (SATURATION)	P34
	壁紙設定		P35
初期設定	TV タイプ		P35
	PBC		P35
	音声言語		P35
	字幕言語		P35
	ディスクメニュー言語		P35
	視聴制限		P36
	バージョン情報		P35
	初期化		P35
パスワード設定	パスワードモード		P36
	パスワード変更		P36

一般設定 [GENERAL SETUP]

■画面サイズ [TV DISPLAY]

ご使用になるテレビジョンの画面サイズに合せて設定します。

【4:3PS】 パンスキャン。 対応ディスクのみ。
ワイド画像は左右がカットされて映ります。
【4:3LB】 レターボックス。
4:3 サイズのテレビにワイド画像を全画面表示します。 画面の上下に黒い帯が映ります。
【16:9 ワイド】 ワイドテレビサイズ。
ワイドテレビと接続する場合に選択します。

■アングルマーク [ANGLE MARK]

この機能は複数のアングルを収録したディスクの再生時に表示するアングルマークが付いたディスクのみに作動します。
【入】 アングルマークを表示します。
【切】 機能をオフにします。

■画面表示言語 [OSD LANGUAGE]

画面に表示する言語を選択します。
【ENGLISH】
【日本語】

■キャプション [CLOSE CAPTION]

クローズドキャプションを収録したディスクの再生時に機能します。
【入】 クローズドキャプションを表示します
【切】 機能をオフにします。

- 字幕とクローズドキャプションが画面上に重なって表示される場合は【切】を選択してください。

■スクリーンセーバー [SCREEN SAVER]

スクリーンを損傷から防ぐために、 画面が一定時間動かないときに表示されます。
【入】スクリーンセーバーを表示します
【切】機能をオフにします。

■ラストメモリ設定 [LAST MEMORY]

機能を【入】にするとディスクを交換しても中断箇所から再生することが可能です。
【入】機能をオンにします。
【切】機能をオフにします。

- 電源を切るとメモリはリセットされます。

■パネルライト設定 [PANEL LIGHT]

本体操作ボタン部のライトの点灯および非点灯を設定します。
【入】ライトを点灯します。
【切】ライトを非点灯にします。

■壁紙設定 [LOGO TYPE]

この機能では本機停止時などに表示する壁紙を選択します。
【固定画像】初期設定時の壁紙を表示します。
【取り込み画像】本機に取り込んだ画像を壁紙として使用します。

■設定を初期状態に戻すには

リモコンの「リセット」ボタンを押すと工場出荷時の状態に戻ります。

音声設定 [AUDIO SETUP]

アナログ音声出力設定 [ANALOG AUDIO SETUP]

■ダウンミックス設定 [DOWNMIX]

【LT/RT】 多チャンネル信号を左と右の 2ch にミックスして出力します。
【STEREO】 2ch 音声をそのまま出力します。
【VSS】 バーチャルサラウンドサウンド。 リア信号をフロントスピーカーに加算して出力します。

■ポスト DRC 設定

小さな音量時はボリュームを上げ、 大きな音量時はボリュームを下げる機能です。
【入】 機能をオンにします。
【切】 機能をオフにします。
【自動】 機能を自動で調整します。

デジタル音声出力設定 [DIGITAL AUDIO SETUP]

■デジタル出力設定 [DIGITAL OUTPUT]

デジタル音声出力端子を使って外部機器と接続する場合に設定します。
【デジタル出力切】 デジタル出力しません。
【デジタル出力 5.1(RAW)】 マルチチャンネル (5.1) 対応アンプと接続する場合に選択します。
【デジタル出力 (PCM)】 マルチチャンネル非対応アンプ (2ch) と接続する場合に選択します。

■ LPCM 音声出力設定 [LPCM OUTPUT]

リニア PCM(Linear Pulse Code Modulation) は音楽 CD や DVD ビデオで使用されている 48kHz/16bit ～ 96kHz/24bit のデジタル音声です。 通常の音楽 CD は 44.1kHz/16bit なのでより高音質の再生が可能です。 対応するアンプの性能に応じて選択してください。
【48K】 ディスクの音声信号は 48kHz に変換されます。
【96K】 サンプリング周波数 96kHz 対応アンプと接続する場合に選択します。
● この機能はデジタル音声出力設定を【デジタル出力 (PCM)】 に設定した場合のみ機能します。

ドルビーデジタル設定 [DOLBY DIGITAL SETUP]

■デュアルモノ設定 [DUAL MONO]

ドルビーデジタルのデュアルモノ方式で記録された DVD を再生する場合の音声出力方式を切り換えます。

【STEREO】ステレオで再生。

【L-Mono】左チャンネルのみを再生。

【R-Mono】右チャンネルのみを再生。

【Mix-Mono】左右の音声を混合して再生。

■ダイナミックレンジ [DYNAMIC]

音量を下げて映画などを楽しむ場合はダイナミックレンジの圧縮率を高めることで、 小さな音でもセリフが聞き取りやすくなります。

【FULL】ダイナミックレンジを最大圧縮します。

【OFF】機能を使用しません。

- ドルビーデジタル信号で記録された DVD の再生およびアナログ出力のみ機能します。
- 効果の少ないディスクもあります。

イコライザ設定 [EQUALIZER]

■サウンドモード設定 [SOUND MODE]

お好みの音質を選択してください。

リモコンからも操作可能です。

【切】

【ロック】

【ポップ】

【ライブ】

【ダンス】

【テクノ】

【クラシック】

【ソフト】

■低音増幅機能 [BASS BOOST]

【入】機能をオンにします。

【切】機能をオフにします。

■重低音機能 [SUPER BASS]

【入】機能をオンにします。

【切】機能をオフにします。

■高音増幅 [TREBLE BOOST]

【入】機能をオンにします。

【切】機能をオフにします。

HDCD 設定

HDCD とは 88.2kHz/20bit で収録された音源を 44.1kHz/16bit の現行 CD の規格に収録する技術です。

■ FILTER 設定

【切】

【44.1K】

【88.2K】HDCD を再生する場合に選択します。

映像設定 [VIDEO SETUP]

■映像出力信号設定 [VIDEO OUTPUT]

テレビとの接続方式に対応した機能を選択してください。
設定を誤ると画面が変色して映る場合があります。
コンポジット (黄色) 端子接続の場合は設定不要です。
【S-VIDEO】テレビの S 映像入力端子と接続する場合に選択します。
【YUV】テレビの D 映像入力端子と接続する場合に選択します。
【RGB】テレビのコンポーネント映像入力端子と接続する場合に選択します。

画質調整 [COLOR SETTING SETUP]

■シャープネス [SHARPNESS]

【高】
【中】
【低】

■ブライトネス [BRIGHTNESS]

カーソル [◀▶] ボタンで調整します。
「再生 / 決定」ボタンを押すと終了します。
設定範囲【− 20】～【＋ 20】

■コントラスト [CONTRAST]

カーソル [◀▶] ボタンで調整します。
「再生 / 決定」ボタンを押すと終了します。
設定範囲【− 16】～【＋ 16】

■ガンマ補正 [GAMMA]

【高】
【中】
【低】
【なし】

■色度 [HUE]

カーソル [◀▶] ボタンで調整します。
「再生 / 決定」ボタンを押すと終了します。
設定範囲【− 09】～【＋ 09】

■彩度 [SATURATION]

カーソル [◀▶] ボタンで調整します。
「再生 / 決定」ボタンを押すと終了します。
設定範囲【− 09】～【＋ 09】

■壁紙設定 [LOGO CAPTURE]

本機の壁紙を DVD などの映像から選んで設定します。
【取り込み】を選択し、「決定」ボタンを押すと選択した画面を本機に壁紙として取り込みます。
● この機能は DVD などの画像ソフトの再生中にのみ機能します。

初期設定 [PREFERENCE SETUP]

■ TV タイプ設定 [TV TYPE]

【PAL】PAL 方式のテレビジョンと接続する場合に選択します。
【自動】
【NTSC】日本のテレビジョン方式は NTSC です。

■ PBC 設定

本機は PBC 機能付き VCD の再生に対応しています。
PBC 対応ディスクではメニュー画面がディスプレイに表示されますので操作しやすくなります。
【入】
【切】

● VCD 再生時、 本機のいくつかの機能は PBC 設定が【入】の場合、 正常に動作しないことがあります。 その際には機能を【切】に設定してください。

■音声言語設定 [AUDIO]

吹き替え音声など DVD の音声を選択します。
選択項目は右表を参照してください。

■字幕言語設定 [SUBTITLE]

字幕の言語を選択します。
選択項目は右表を参照してください。

■ディスクメニュー言語設定 [DISC MENU]

ディスクメニューの言語を選択します。
選択項目は右表を参照してください。

選択項目 (言語)

【英語】
【フランス語】
【スペイン語】
【中国語】
【日本語】
【韓国語】
【ロシア語】
【タイ語】
【切】

■バージョン情報 [S/W VERSION]

現在の製品バージョン情報を表示しています。

■初期化 [DEFAILT]

【リセット】を選択して決定すると本機の設定をリセットし、 初期化します。

■視聴制限設定 [PARENTAL]

【レベル 1】KID SAF[Kid Safe] 子ども向けソフトのみ再生可能。
【レベル 2】G[General Audience] 一般むけ。
【レベル 3】PG[Parental Guidance] 児童の鑑賞は保護者の判断が必要。
【レベル 4】PG13[Parental Guidance Under Age 13] 13 歳未満の鑑賞は保護者の指導が必要。
【レベル 5】PGR[Parental Guidance Restricted] 17 歳未満の鑑賞は両親の指導が必要。
【レベル 6】R[Restricted] 17 歳以下の青少年は親か成人の保護者同伴が必要。
【レベル 7】NC17[No Children Under Age 17] 17 歳以下は鑑賞禁止。
【レベル 8】ADULT すべてのソフトの再生が可能です。

- 設定を変更する場合にはパスワードを入力してください。
- 工場出荷時のパスワードは【1389】に設定されています。

パスワード設定 [PASSWORD SETUP]

■パスワードモード [PASSWORD MODE]

機能を【入】にすると「視聴制限」設定でパスワードの入力が求められます。
【入】機能をオンにします。
【切】機能をオフにします。

■パスワード変更 [PASSWORD]

【変更】を選択し決定するとパスワードを変更することができます。
3 つの項目が表示されますので、 それぞれ 4 桁の数字を入力します。
最後に【OK】を選択決定します。

1 旧パスワード [OLD PASSWORD]
2 新パスワード [NEW PASSWORD]
3 パスワード確認 [CONFIRM PASSWORD]

- 工場出荷状態のパスワードは【1389】に設定されています。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、 お問合わせの前にまずこのこのページで点検してみてください。
それでも動作しない場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

症状	確認事項と対策	掲載
電源が ON にならない	プラグがコンセントからはずれていませんか？	P20
	背面の主電源スイッチが【OFF】になっていませんか？ 主電源スイッチを【ON】にしてください。	P20
本体が熱くなる	故障ではありません。	
映像が映らない	AV コードは正しく接続されていますか？ 接続やテレビ側の入力切替を確認してください。	P16
液晶モニターが映らない。 真っ暗になる。	リモコンの「モニター」ボタンを押し、 モニターを【入】にしてください。	P20
映像が乱れる	「映像出力信号設定」をご確認ください。 接続方法に応じた設定を行ってください。	P34
画面サイズがおかしい	「画面サイズ設定」を確認してください。	P31
	ズーム再生している場合は機能を解除してください。	P25
映像が途中で止まる	片面 2 層ディスクは層の変わり目で、 映像や音声が一瞬停止することがあります。	
ブロック状ノイズが出る	本機からの映像をビデオデッキ経由で再生するとコピーガードの働きにより画像が乱れる場合があります。	
	本機の演算処理能力を超えるときにブロックノイズが発生する場合があります。 ブロックノイズは DVD の映像記録方式 (MPEG) の性質上、 完全に除去することは困難です。	
音が出ない	アンプと接続する場合は入力切換を確認してください。	P18
	スピーカは正しく接続されていますか？	P11
音量が小さい	本機の音量はメモリされません。 電源を【入】にした後で音量を調節してください。	P21
	デジタル接続はアナログに比べて音が小さいときがあります。	P32
デジタル音声が出力されない	「デジタル出力設定」をご確認ください。	P32
デジタル接続でノイズが発生する	ドルビーデジタル非対応アンプとデジタル接続する場合は「デジタル出力設定」を「PCM」にしてください。	P32
DVD ± R/RW ディスクが再生できない	DVD レコーダーなどで記録する場合は「ビデオモード」でフォーマットしたディスクをファイナライズ処理してください。	P19
DVD ビデオを再生できない	視聴制限がかかっている場合は機能を【切】にしてください。	P36
ディスクや USB に入れた動画が再生できない	デジタルカメラなどで記録された音声付画像 (Motion JPEG) は再生できません。	P28
MPEG4 ファイルの再生ができない。 音声が出ない	記録方式によっては正しく再生できない場合があります。	

おもな仕様

■電源部

電源電圧……AC100V、50Hz/60Hz
消費電力……50W
待機時消費電力……3W
動作温度……摂氏 5℃～ 35℃

■アンプ部

実用最大出力……6W × 2
S/N 比……80dB 以上
周波数特性……20Hz ～ 200000Hz

■液晶モニター部

使用ユニット……TFT60mm 液晶
解像度……26 万画素

■スピーカ部

型式……バスレフ方式 2 ウェイスピーカ
高音用ユニット……1 インチ (1)
中低音用ユニット……2.75 インチ (1)
最大許容入力……8W
公称インピーダンス……4 Ω
キャビネット材質……木製 (防磁型)

■音声再生フォーマット

・ドルビーデジタル
・リニア PCM
・MP3
・WMA

■映像再生フォーマット

・MPEG1(VCD)
・MPEG2(DVD)
・MPEG4

■インターフェース

・USB2.0 端子 (1)

■音声出力端子

・光デジタル角型端子 (1)
・同軸デジタル端子 (1)
・アナログ RCA 端子 (1)
・スピーカ用 RCA 端子 (1)

■映像出力端子

・コンポジット映像端子 (1)
・コンポーネント映像端子 (1)
・S 映像端子 (1)
・D1 映像端子 (1)

■再生可能ディスク

・DVD ビデオ
・DVD-RW(ビデオモード / ファイナライズ)
・DVD-R(ビデオモード / ファイナライズ)
・＋ RW(ビデオモード / ファイナライズ)
・＋ R(ビデオモード / ファイナライズ)
・CD-DA(音楽 CD)
・CD-R
・CD-RW

■本体外形寸法 / 質量

外形寸法……幅 250 ×高 65 ×奥 260mm
質 量……1950 g

■スピーカ外形寸法 / 質量

外形寸法……幅 100 ×高 160 ×奥 130mm
質 量……810g(1 個)

■赤外線ワイヤレスリモートコントローラ

外形寸法……幅 55 ×高 125 ×厚 10mm
質量……40g(乾電池除く)
使用電池……CR2025(ボタン型)

★仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合がございます。

保証とアフターサービス

保証書はこの取扱説明書に付属していますので、 必ず [販売店] や [ご購入日] などの記載を確かめ、 保証内容などをよくお読みください。 保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

修理を依頼されるときは

まず本書にしたがってもう一度操作していただき、 直らないときに次の処置をしてください。
症状はできるだけ詳しくお知らせください。

保証期間中

・保証書の規定に従い、 お買い上げの販売店か弊社が修理させていただきます。

・製品に保証書を添えてご送付ください。

保証期間が過ぎているとき

・お買い上げの販売店にご相談ください。

・修理によって使用できる製品につきましてはご希望により有料で修理させていただきます。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分にいたしましょう。
ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。
夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。
窓を閉めたり、 ヘッドホンをご使用になるのもひとつの方法です。
お互いに気を配り、 快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです

音のエチケット

愛情点検　長年ご使用の AV 機器の点検を！

こんな症状はございませんか？
- ●電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ●電源コードやプラグにヒビが入っている。
- ●電気が入ったり切れたりする。
- ●異常な音や臭い、 発熱がある。
- ●その他の異常や故障、 不具合がある。

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
必ず電器店に点検をご依頼ください。 費用等も併せてご相談ください。

製品保証書

本書はお買い上げ日から下記期間中、 故障が発生した場合には本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。 This warranty valid only in Japan.

保証規定

1) 取扱説明書に従った正常な使用で故障した場合にはお買い上げの販売店が無料修理いたします。
2) 無償修理をご依頼になる場合には、 製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご相談ください。
3) 製品保証書は再発行いたしません。
4) 本書は日本国内においてのみ有効です。
5) 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
   ⅰ) 製品保証書のご提示がない場合。
   ⅱ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   ⅲ) 製品保証書にお客さまのお名前、 お買い上げ店名印、 お買い上げ日の記載がない場合。
   ⅳ) 製品保証書の字句を書き換えられた場合。
   ⅴ) お買い上げ後の輸送、 移動時の落下などによる故障および損傷。
   ⅵ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、 塩害、 異常電圧などによる損傷および故障。
   ⅶ) 車両や船舶等に搭載された場合に生ずる損傷および故障。
   ⅷ) 業務用など一般家庭以外の用途で使用された場合に生じた損傷および故障。

機 種 名	**DVC-05**
保証期間	お買い上げ日から **本体 1 年間**
ご購入日	
お 客 様	
販 売 店	

フジ電器出版合同会社
http://www.fujidensha.com/